

比洪水支援へ出発

A M D A 代表ら 感染症など対応

国際医療ボランティア
ア M D A (岡山市北区伊福町) は11日、台風による洪水などで大きな被害を受けたフィ

リピン・ミンダナオ島の被災者を支援するた
め、菅波茂代表ら2人を第3次医療チームとして現地派遣した。

台風は昨年12月に直撃。これまで1200人以上が死亡し、現在も大勢が避難生活を送っている。衛生状態が悪く、感染症が広がっているという。

現地入りするのは菅波代表と調整員ウィーラウアーグ・ニッティヤーンタンさん(43) 〓 オーストラリア国籍。避難所を巡り、医療支援を行う予定。

J R 岡山駅で菅波代表は「現地の医療グループと合流し、地域の要望に応じた適切な支援を続けたい」と話した。関西国際空港から13日現地入りする。滞在予定は1週間。A M



J R 岡山駅を出発する菅波代表(左)とウィーラウアーグさん

D A は1991年からフィリピンで何度も支援を実施。今回の台風では昨年12月21日から活動している。

(船越元洋)